

災害に強い道路になるよう安全最優先で工事を進めております。



① 小屋浦トンネル南側坑口



③ 吉浦トンネル内



② 天応東IC付近



④ 二河高架橋



「土は海を渡る」～海上運搬で支える工事～

広島呉道路4車線化工事に伴い発生する大量の建設発生土。通常この土はダンプトラックで運搬されますが、この事業では「船で海上運搬する」という方法を採用しています。これは効率性や安全性、環境負荷を考えた、他ではあまり見られない土砂運搬方法です。

● なぜ船を使うのか？

もしトラックで運搬する場合、多くのダンプが長距離を行き来することになります。これでは渋滞や交通事故のリスクが高まり、CO₂の排出量も増加します。

そこで、沿岸部という呉の地域特性を活かし、建設発生土の運搬に船を利用することで、環境負荷の軽減と安全性の向上を実現しています。また、海上運搬では日々の運搬量にバラつきが出にくく、計画通りに運搬できることも大きなメリットです。船を活用することで、一度の輸送で多くの土を運べるため、効率的かつ安定した運搬が実現しています。

● どれくらいの量を運ぶのか？

この工事で発生する建設発生土の総量は約100万m³あります。工事で発生した土は、まずダンプによって「呉ポートピアパーク」内にある積込拠点まで運ばれ、そこから船に積み込みます。運搬先は約8.6km離れた広島県港湾埋立事業地（出島地区）です。

1隻あたり約1200m³（ダンプ280台相当）の土を一度に運べるため、ダンプのみで運搬していた場合と比べると、1日に行き交う車両の台数を大幅に削減することができます。

● 地域の皆さまへ

工事に伴う影響を最小限に抑えつつ、安全で計画的な運搬を進めるため、大規模な海上運搬を導入しています。ダンプの走行によりご迷惑をおかけしているところですが、計画的な運搬ができるよう、法令順守、走行マナーを徹底し、引き続き安全運行に努めてまいります。今後もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



海上運搬船



積込拠点 (呉ポートピアパーク)